

ACTIVITY REPORT

2018



E.C.TOKYO

強く、愛されるチームをめざして

ごあいさつ

日頃より FC 東京に多大なるご支援・ご声援を賜り、ありがとうございます。2018年10月1日、FC 東京は20回目の創設の日を迎えました。クラブの誕生にご尽力いただいた方々、これまでクラブに愛を捧げていただいた方々に感謝申し上げます。みなさまのご支援・ご声援のおかげで、クラブは大きく成長することができました。

節目となる今シーズン、私たちは原点に立ち返るために、「強く、愛されるチームをめざして」をスローガンに掲げました。長谷川健太監督のもと、選手たちは最後まで諦めず、戦う気持ちを前面に出し、東京らしさを見せてくれました。しかし、タイトル獲得という目標を成し遂げられなかったことは、チームに「何か足りないことがある」ということです。来シーズンに向けて、現戦力を維持しつつ足りないピースを補うための戦力補強、若い選手の底上げ、この両輪を回しながら、今シーズンの課題であったチームの総合力を高めてまいります。

育成という観点では、U-23が3年目を迎え、U-18所属の選手を含めて23歳以下の選手が実戦経験を積む貴重な場となっています。アカデミーからU-23、トップチームのコミュニケーションを通じて一貫した育成体制が実現できました。また、U-18からアメリカの大学に進学するなど新しい取り組みもスタートしており、今後は大学を経てクラブに戻ってくる選手も増えてくることでしょう。長期的な視野で選手育成に取り組める環境を構築できたことは大きな成果だと感じております。育成型クラブとして、トップチームの中心をアカデミー出身の選手が担い、東京オリンピックや2022年ワールドカップでFC 東京の選手が世界を相手に活躍することを期待しています。

クラブやスタジアムには人々や活動をつなげ、そして広げる力があります。東京都全域に FC 東京ファミリーの輪がさらに拡がり、地域とクラブが

強い絆で結ばればこれほど嬉しいことはありません。FC 東京はクラブ創設から地域コミュニティへの貢献を重視し、人権啓発活動や非行防止などの社会連携活動にも積極的に関わってきました。サッカーの普及活動だけでなく、「子どもたちの健全育成」をはじめとする大事なテーマに、みなさまと連携しながらさらに取り組んでいきたいと考えています。

2019シーズン、FC 東京は新たな未来に向けて動き出します。Jリーグを取り巻く環境が変化していく中、これから訪れる大競争時代を勝ち抜いていくための試金石となる年だと位置付けております。FC 東京という存在価値を高めるために、タイトルの獲得は必要不可欠です。FC 東京は首都のクラブとして、世界に誇れるサッカー専用スタジアムで魅力的なサッカーを展開し、日本国内、そしてアジアのタイトルを獲得し続ける、日本サッカーを牽引する存在でありたいと思っています。

首都東京にふさわしい「強く、愛されるチームをめざして」、2019シーズンこそファン・サポーターのみなさまの期待に応えるべく、選手・クラブスタッフ一同、精進してまいります。今後ともご支援・ご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。



東京フットボールクラブ株式会社
代表取締役社長

大金 直樹

会社概要

会社名

東京フットボールクラブ株式会社
TOKYO FOOTBALL CLUB Co., Ltd.

創立

1998年10月1日(都民の日)

主な事業

1. プロサッカーチーム「FC 東京」の運営
(1999年よりJリーグディビジョン2に加盟)
2. サッカースクールおよびサッカーの普及活動
3. チームのオリジナルグッズの製作・販売

所在地

[本社]
〒135-0003 江東区猿江 2-15-10
【TEL】03-3635-8985 【FAX】03-3635-8974

[小平事務所]
〒187-0001 小平市大沼町 3-14-1
東京ガス武蔵野苑内
【TEL】042-342-8950 【FAX】042-342-8973

[味の素スタジアム事務所]
〒182-0032 調布市西町 376-3
味の素スタジアム内
【TEL】042-488-6255 【FAX】042-488-6253

資本金

1,187,000,000円
(2019年1月31日時点)

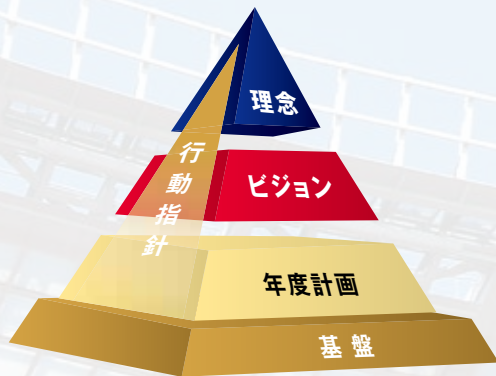
エンブレム



BASIC PHILOSOPHY

FC東京の基本理念

次に掲げる理念の具現化を地域社会・行政・企業の協力体制により組織的に推進し、長期的な視点から真の「都民のための地域密着型Jリーグクラブ」づくりを目指します。



- 1 サッカーを通じて青少年の健全な心身の発達および都民の健康や喜びづくりに寄与し、スポーツ文化の振興ひいては地域社会の発展、国際交流・親善に貢献する。
- 2 将来的には、サッカー以外のスポーツを含め、競技スポーツとレクリエーションの両分野で地域社会に貢献できるような「生涯スポーツ」を視野に入れたクラブを指向し、これをJリーグクラブの組織づくりのベースとし、その発展・拡大により実現していく。
- 3 都民のシンボルとなり、青少年に夢を与える首都東京に相応しいサッカーチームを育て、多くの都民のファンをつくり、都民の連帯感（地域社会への帰属意識）の醸成・地域社会の活性化に寄与する。
- 4 サッカークリニック・サッカースクール・各種イベントを中心に、学校や各地域におけるサッカー活動との連携・協力を図り、青少年をはじめ都民各層に対するサッカーの指導・普及活動に努める。

2020 VISION

SO THAT TOKYO SHINES

～東京が輝くように～

ファン・サポーターをはじめとしたステークホルダーのみなさまに“より価値のあるもの”を提供していくために、クラブの従来のイメージを打破し、FC東京が強く、先進的でかつダイナミックなクラブとして変わっていくこと、そしてホームタウンで開催される東京2020オリンピック・パラリンピックが成功し、『東京』が光り輝くように！

強く、愛されるチーム の輝き

アジアトップレベルの育成体制、そして、アジアで戦えるチームに進化していきます。

- アジアトップレベルの育成体制の構築
- J1リーグ戦制覇、アジア制覇の実現

FC東京ブランド の輝き

FC東京ファミリー（FC東京に関わるすべてのみなさま）の喜びにつながる価値を提供していきます。

- FC東京ファミリーの拡大
- スタジアム環境のさらなる充実
- FC東京ブランド価値の向上

ホームタウン東京 の輝き

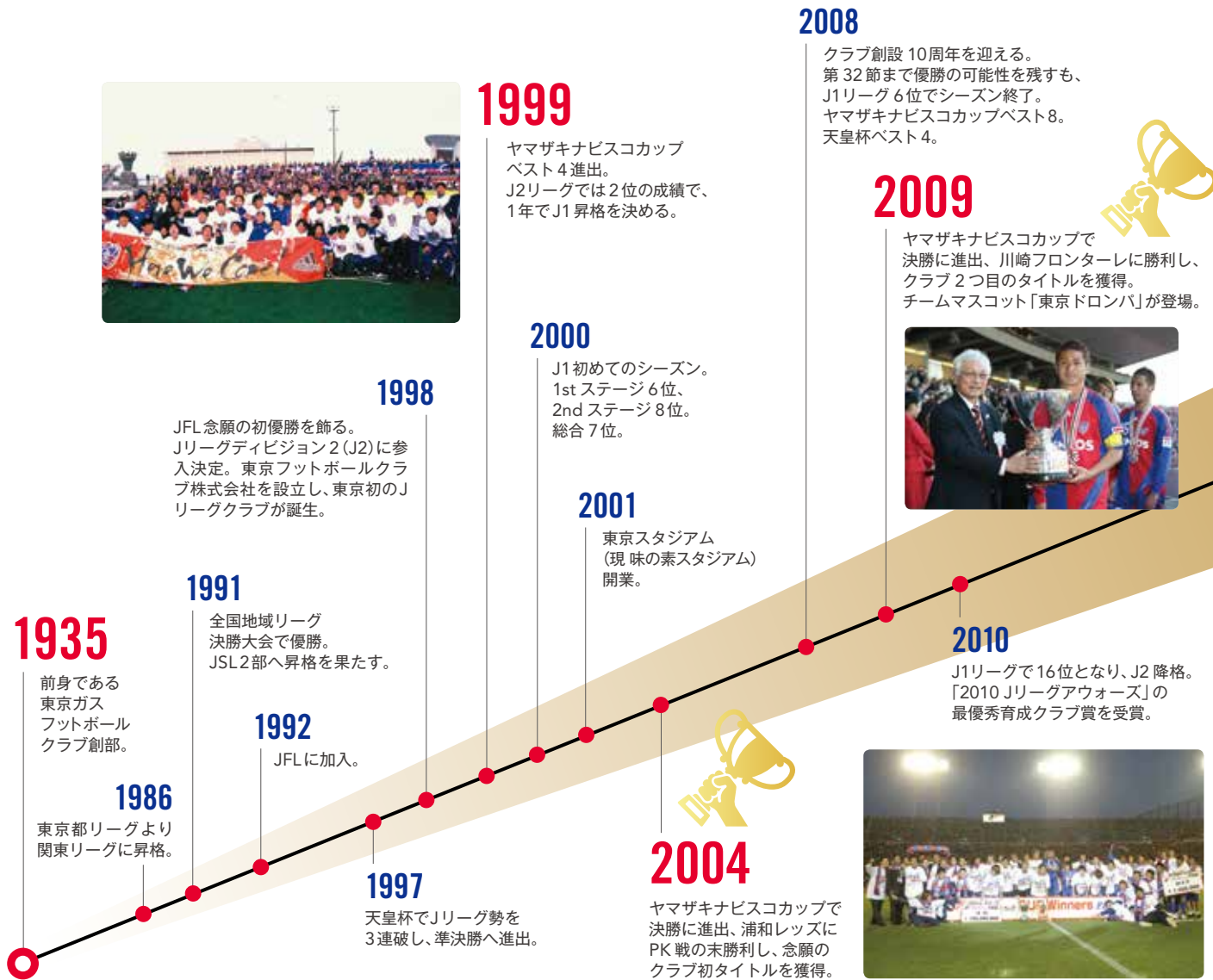
地域のみなさまに愛され必要とされる存在となり、東京2020オリンピック・パラリンピックに貢献していきます。

- 地域コミュニティへの貢献
- 東京2020オリンピック・パラリンピックへの貢献

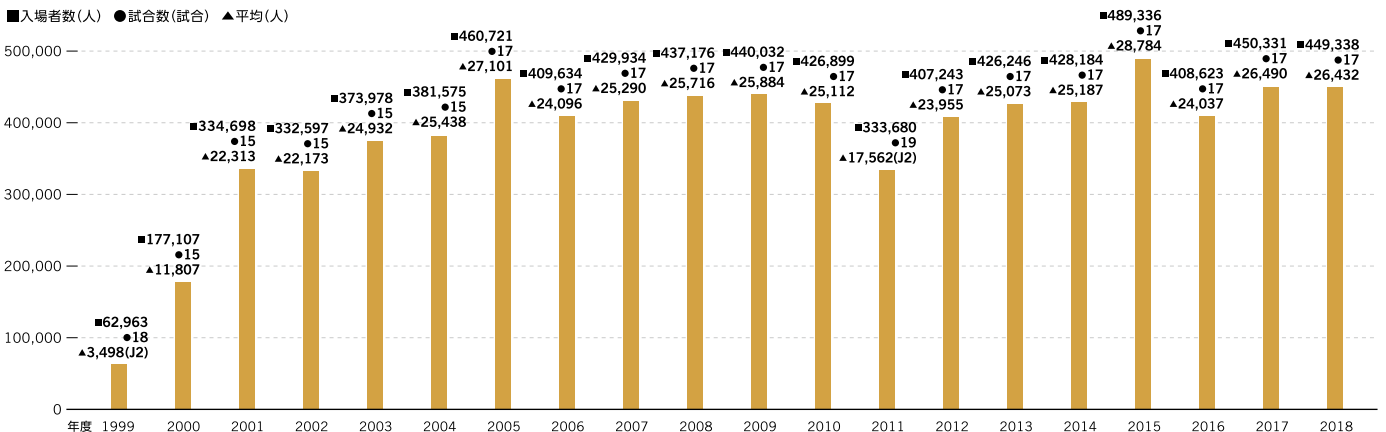
具体的数値目標

アカデミー出身 トップチーム登録数	J1リーグ戦 1試合平均ご来場者数	SOCIO	クラブサポート メンバー	営業収入	サッカースクール (派遣校含む)
10人	30,000人	12,000人	30,000人	50億円	30校・ 5,000人

東京ガスフットボールクラブを前身に、99年「FC東京」としてJリーグに参入。以来、都民のためのJクラブとして、念願のリーグ戦タイトル獲得を目指しています。



年度別入場者数推移



F.C. TOKYO'S HISTORY

2011



J2リーグで優勝、1年でのJ1リーグ復帰。第91回天皇杯で初優勝、AFCチャンピオンズリーグ(ACL)出場権獲得。



2012

FUJI XEROX SUPER CUP 2012に初出場。ACL ラウンド 16に進出。J1リーグ 10位。

2014

J1リーグ 9位。リーグ戦においてクラブ新記録である14試合無敗を達成。

2016

ACL ラウンド 16 進出。J1 リーグ 1st ステージ 9 位、2nd ステージ 9 位、年間 9 位。ルヴァンカップベスト 4。天皇杯ベスト 8。FC 東京 U-23 を編成、J3 リーグ 10 位。



2017

J1リーグ13位、J3リーグ11位、ルヴァンカップベスト8、天皇杯2回戦敗退。「2017 Jリーグアウォーズ」最優秀育成クラブ賞、フェアプレー賞を受賞。

2015

2ステージ制の導入。J1リーグ1stステージ2位、2ndステージ6位。年間4位。ヤマザキナビスコカップベスト8。ACLプレーオフ出場権を獲得。

2018

J1リーグ6位、J3リーグ14位、ルヴァンカップグループステージ敗退、天皇杯ラウンド16(4回戦)敗退。「2018 Jリーグフェアプレー賞」をJ1リーグ、J3リーグで受賞。

2018 TOPICS

01

新体制発表会開催



1月、イオンシネマ シアタス調布にて「2018FC 東京新体制発表会」を開催。長谷川健大監督をはじめとする新任スタッフ・新加入選手の紹介や20周年記念事業の概要を発表しました。

02

「2018 Jリーグ アジア チャレンジ in インドネシア」出場



Jリーグアジア戦略の一環で、2017シーズンより3年間に渡り、提携しているリーグの国で開催される大会。2018年に日本インドネシア国交樹立60周年を迎えたインドネシアにて、インドネシアサッカー協会と共催のもと実施されました。2017インドネシアリーグチャンピオンのパヤンカラFCと対戦し、4-2でFC東京が勝利しました。

03

4月度「明治安田生命 Jリーグ Mastercard priceless japan 月間 MVP」受賞



ディエゴオリヴェイラ選手が、各月の明治安田生命 J1・J2 リーグにおいて最も活躍した選手を表彰する「明治安田生命 Jリーグ Mastercard priceless japan 月間 MVP」の4月度受賞選手に選ばれました。

04

代表選出



室屋 成 (日本代表)



森重 真人 (日本代表)



久保 建英 (U-19 日本代表)



原 大智 (U-19 日本代表)



岡崎 慎 (U-21 日本代表)



ジャキット (U-21、U-23 タイ代表)



平川 怜 (U-18、U-19 日本代表)



チャン ヒョンス (韓国代表)



波多野 豪 (U-21 日本代表)

SAMURAI BLUE (日本代表)をはじめ、各国年代別の代表に9名が選出されました。

©J.LEAGUE

2018年の戦績

2018 明治安田生命 J1 LEAGUE								順位表
順位	チーム名	勝点	勝	分	敗	得点	失点	得失点差
1	川崎フロンターレ	69	21	6	7	57	27	30
2	サンフレッチェ広島	57	17	6	11	47	35	12
3	鹿島アントラーズ	56	16	8	10	50	39	11
4	北海道コンサドーレ札幌	55	15	10	9	48	48	0
5	浦和レッズ	51	14	9	11	51	39	12
6	FC東京	50	14	8	12	39	34	5
7	セレッソ大阪	50	13	11	10	39	38	1
8	清水エスパルス	49	14	7	13	56	48	8
9	ガンバ大阪	48	14	6	14	41	46	-5
10	ヴィッセル神戸	45	12	9	13	45	52	-7
11	ベガルタ仙台	45	13	6	15	44	54	-10
12	横浜F・マリノス	41	12	5	17	56	56	0
13	湘南ベルマーレ	41	10	11	13	38	43	-5
14	サガン鳥栖	41	10	11	13	29	34	-5
15	名古屋グランパス	41	12	5	17	52	59	-7
16	ジュビロ磐田	41	10	11	13	35	48	-13
17	柏レイソル	39	12	3	19	47	54	-7
18	V・ファーレン長崎	30	8	6	20	39	59	-20

※17、18位のチームがJ2リーグ降格
 ※2019シーズンより松本山雅FC、大分トリニータがJ1リーグ昇格

2018 J.LEAGUE YBC Levain CUP					戦績表
節	開催日	対戦相手	スコア	会場	
【グループステージ (Aグループ)】					
1	3/7(水)	横浜F・マリノス	●0-1	ニッパツ三ツ沢球技場	
2	3/14(水)	アルビレックス新潟	○1-0	味の素スタジアム	
3	4/4(水)	ベガルタ仙台	●0-3	ユアテックスタジアム仙台	
4	4/18(水)	横浜F・マリノス	△2-2	味の素スタジアム	
5	5/9(水)	アルビレックス新潟	●2-3	デンカビッグスワンスタジアム	
6	5/16(水)	ベガルタ仙台	●0-1	味の素スタジアム	

天皇杯 JFA 第98回全日本サッカー選手権大会					戦績表
回戦	開催日	対戦相手	スコア	会場	
2	6/6(水)	流経大ドラゴンズ龍ヶ崎	○4-2	味の素スタジアム	
3	7/11(水)	アルビレックス新潟	○3-1	デンカビッグスワンスタジアム	
ラウンド16 (4回戦)	8/22(水)	モンテディオ山形	●1-1(6PK7)	NDソフトスタジアム山形	

20周年記念事業

FC 東京は 2018 年にクラブ創設 20 周年を迎えました。



創設 20 周年を記念し、オリジナルロゴを作成。2018 シーズンのユニフォームをはじめ、オフィシャルグッズやホームゲームの際の来場者プレゼントなどにデザインされ、節目の年を彩りました。

特徴

1

FC 東京の力強さと独自性を、
太くポップな書体で表現。

特徴

2

2018 シーズン以降、
さらなる高みをめざすクラブと
未来をつなぐ架け橋とするべく
大胆な切り込みのアーチを配置。

特徴

3

Jリーグの
リーディングクラブと
なれるよう願いを込めた。

■ 記念街路灯フラッグ

「強く、愛されるチームをめざして」というスローガンと 20 周年記念ロゴとともに、「これからこの“街”とともに」という地域へのメッセージを入れた 20 周年の記念街路灯フラッグを制作。自治体や商店会のご協力により、都内各地に約 5,000 本を掲出していただきました。



■ 成人式への協力



20 周年を迎えた FC 東京と同じく、20 歳を迎えるみなさまと一緒に「20 歳の記念式典」と題し、1 月 8 日(月祝)に都内で行われた成人式に協力・参加しました。東京ドロンバの登場や抽選会での開幕戦チケットの提供などを通じ、各自治体の成人式実行委員会の方々と一緒に式典を盛り上げました。

■ 20周年記念写真展

1999 年から 2018 年までの象徴的な写真や優勝カップなどを年代ごとに会場を変えて「20 周年記念写真展」として都内各地で開催しました。普段は目にするのできない優勝カップや、それぞれに思い入れのある懐かしい写真を多くの方が楽しんでいました。



- 第 1 回 [2/16(金) ~ 2/18(日)] 調布市・武蔵野の森総合スポーツプラザ
- 第 2 回 [4/28(土) ~ 5/6(日)] 小平市・ガスミュージアム
- 第 3 回 [6/22(金) ~ 6/24(日)] 府中市・府中フォーリス
- 第 4 回 [7/28(土) ~ 7/30(月)] 三鷹市・三鷹中央防災公園 元気創造プラザ
- 第 5 回 [8/31(金) ~ 9/3(月)] 西東京市・西東京スポーツセンター
- 第 6 回 [9/29(土) ~ 10/5(金)] 調布市・調布市文化会館たづくり
- 第 7 回 [10/12(金) ~ 10/14(日)] 小金井市・小金井 宮地楽器ホール

20周年 記念 ユニフォーム

創設 20周年を記念し「20周年記念ユニフォーム」を製作。2018 明治安田生命 J1 リーグ 9月29日(土) 清水エスパルス戦、10月7日(日) 名古屋グランパス戦、10月20日(土) セレッソ大阪戦にて着用し試合を戦いました。このユニフォームは昨年
から取り組んでいる「ECO パスプロジェクト in 味スタ」にてファン・サポーターのみなさまより回収した
ペットボトルからリサイクルされた繊維を一部使用し製作しています。



FC TOKYO 20th Anniversary Kit

ホームタウン 6市 交流サッカー大会



府中・三鷹・調布・小平・西東京・小金井の各サッカー協会・サッカー連盟と協力し、4月22日(日)には社会人の部、9月9日(日)には少年の部(小学2年生)の交流大会を開催しました。とくに少年の部には約500名の子どもたちが参加し、晴天のもと芝生の上でボールを蹴る楽しさを感じてもらいました。

「FC 東京クラブ創設 20周年記念イベント」

9月29日(土) 清水エスパルス戦にて「FC 東京クラブ創設 20周年記念イベント」を開催しました。

- 20周年記念ユニフォーム着用試合の実施
- 「20周年記念ユニフォーム型 Tシャツ」をご来場者先着 30,000名にプレゼント
- 20周年記念「FC 東京 OB戦」開催
- 会員限定 20周年記念特別企画「20周年記念フラッグベアラー」「レフリーエスコートキッズ」実施



FC 東京 U-23 ホームゲーム 「20周年記念特別企画」会員向け限定企画



- 8月25日(土) ザスパクサツ群馬戦
ボールパーソン参加者募集
- 9月16日(日) SC 相模原戦
ストレッチャーパーソン参加者募集
- 10月28日(日) 藤枝 MYFC 戦
「SOCIOvsCSM」前座試合開催

スタジアム



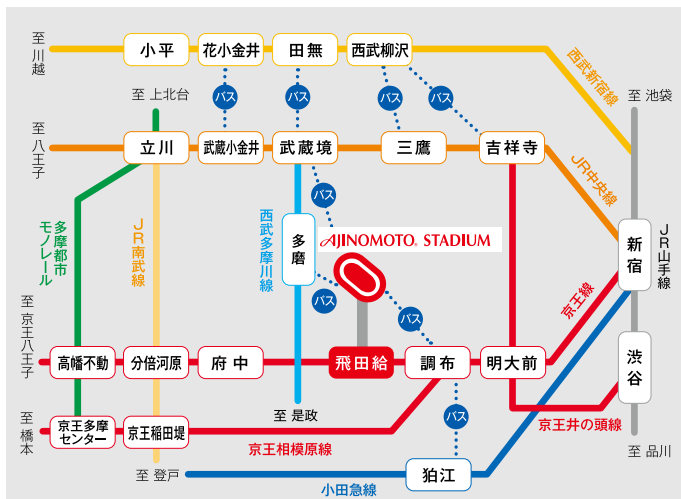
味の素スタジアム

住所	東京都調布市西町376-3
電話番号	042-440-0555
収容人数	49,970人

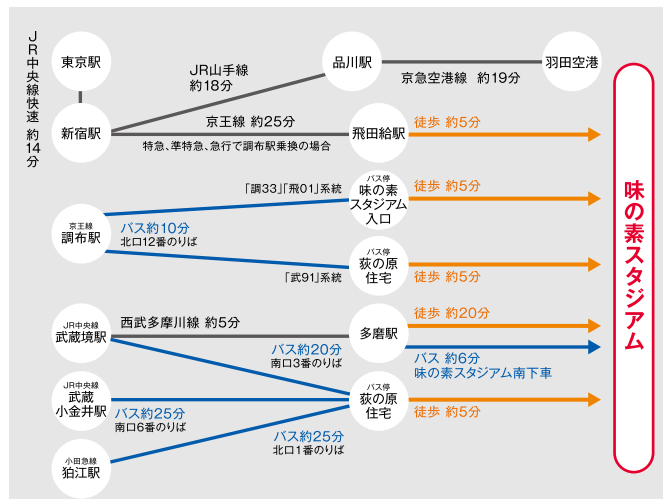
味の素スタジアム アクセス

新宿駅から飛田給駅まで京王線特急で約17分
京王線準特急で約19分
(飛田給駅臨時停車の場合)

鉄道路線案内図



アクセス別所要時間



スタジアムにおける福祉サービス



車椅子
FC東京のホームゲームでは車椅子を利用して観戦される方に向けて、車椅子席を常設約50席、臨時約300席をご用意しています。また車椅子専用入口やオストメイトトイレなどの設備も完備しています。



磁気ループ
聴覚障害の方も臨場感あふれる観戦をお楽しみいただける磁気ループ席を設けています。座席の床下に磁気ループを設置し、補聴器についているテレコイル機能を使うことで直接補聴器へ音を届けることができます。(事前申込制)



ナーサリー
満1歳～6歳の未就学児を対象に、子ども連れのお客様にも安心して観戦していただくための一時託児サービスを行っています。(完全予約制・有料)

FC東京・市民スポーツボランティアとは

ホームゲームの運営などをサポートいただいているみなさまで、東京スタジアム(現味の素スタジアム)のこけら落としでもあった2001年3月10日の開幕戦から活動をスタートさせ、18年目となりました。2016年からはFC東京U-23のホームゲームにもご参加いただき、「スタジアム環境のさらなる充実」に向けてご協力いただいています。



■ 開幕戦ゲスト登場!



ホーム開幕戦となる2月24日(土)浦和レッズ戦に「東京スカパライズオーケストラ」がスペシャル LIVE ゲストとして登場。過去4回出演しチームを勢いづけてくれたことから、タイトル獲得を目指す今シーズンの開幕戦に相応しいゲストとして、会場を大いに盛り上げてくださいました。

■ マッチイベント

スタジアムのワンダーランド化を目指し、様々なイベントを実施。7月27日(金) V・ファーレン長崎戦では「XFLAG Day」を開催し、オリジナルステッカーのプレゼントや青赤横丁での“モストやぐら”の設置をしました。また、この長崎戦は金曜開催「フライデーナイトJリーグ」として、ハーフタイムには「バーに当てれば100万円」企画など、金曜の夏の夜を楽しんでいただける企画を実施しました。



オリジナルステッカー

2018年 マッチイベント実施報告

開催日	対戦相手	イベント名
2月24日(土)	浦和レッズ	DAZN DAY
3月31日(土)	ガンバ大阪	ローソン Day
4月11日(水)	鹿島アントラーズ	リヴ グループ Day
4月28日(土)	名古屋グランパス	東京ガスライフバル Day
5月13日(日)	北海道コンサドーレ札幌	三菱電機 Day
7月22日(日)	横浜F・マリノス	りらいあコミュニケーションズの日
7月27日(金)	V・ファーレン長崎	XFLAG Day
8月5日(日)	ヴィッセル神戸	Teddy Bear Day
8月15日(水)	柏レイソル	東京商工会議所 Day
9月2日(日)	サガン鳥栖	AJINOMOTO Day
9月29日(土)	清水エスパルス	umbro Day 2018 東京ドロンバ Birthday Party ~チームマスコット就任 10th Anniversary ~
10月20日(土)	セレッソ大阪	明治安田生命 Day
11月10日(土)	ジュビロ磐田	きらぼし銀行 Day
11月24日(土)	川崎フロンターレ	ジーク Day Big Thank You Day ~今シーズンもありがトーキョー!~ 第32回多摩川クラシコ

■ 青赤横丁



ホームゲーム時に南側広場(アジバンダ広場)にて「青赤横丁」を開催。様々なイベントや自慢のスタジアムグルメをご用意し、ご来場者にお楽しみいただきました。

【アトラクション】

ひととき大きく目立つのが「東京ドロンバふわふわ」。その他、子どもも楽しめるアトラクションを実施しました。



- 東京ドロンバふわふわで遊ぼう!
- みんなでサッカーをしよう!
- ジュニア/キッズ体験カート

【マッチデーステージ】

7月22日(日)横浜F・マリノス戦では都内各地のキャラクターが登場したり、「小金井阿波踊り」が披露されたほか、人気アニメ「ワンピース」とのタイアップ企画など、ご家族でお楽しみいただけるイベントを実施しました。



【クラブスポンサーブース】

展示やサンプリング、体験会など、FC東京のクラブスポンサーよりみなさまに役立つ情報をお届けするブースを出展しました。



■ パブリックビューイング

アウェイで開催された8月1日(水)鹿島アントラーズ戦、9月15日(土)ベガルタ仙台戦のパブリックビューイングを「秋葉原 UDX ビジョン」にて開催。スタジアムに行けないファン・サポーターのみなさまに大画面での試合観戦を楽しんでいただき、FC東京を熱くサポートしていただきました。





FC TOKYO U-23

2016シーズンにJ3リーグに参入し、
3シーズン目を迎えました。
J1リーグの舞台で活躍することを
目指す若き青赤戦士たちです。



©J.LEAGUE

スタジアムイベント

【マッチイベント】

7月15日(日)セレッソ大阪 U-23 戦にて「ジーク CHALLENGE MATCH」を開催。ご来場者先着2,000名に「ポストカード付チラン」を配布、ブース出展も行ないました。



【パラリンピック体験イベント】

2020年パラリンピック種目に認定されている「視覚障がい者5人制サッカー(通称:ブラインドサッカー)」を多くの方々に知ってもらおうと、11月18日(日)Y.S.C.C. 横浜戦にてブラインドサッカー体験とイベントを実施しました。



【FC 東京 U-23 夏祭り】

7月15日(日)セレッソ大阪 U-23 戦にて、「FC 東京 U-23 夏祭り」を開催しました。「東京ドロンバふわふわで遊ぼう!」「キックターゲット」「スーパーボールすくい」など、子ども向けのイベントをご用意し、楽しんでいただきました。



【地域の方々とのイベント】

スタジアム周辺地域の少年サッカー連盟と連携し、地域で活動する少年・少女のサッカーチーム同士で交流戦を行うキッズマッチ、地域で活動するチアリーダーングショーや、ダンスショーを実施。



2018 J3 順位表

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗	得点	失点	得失点差
1	FC琉球	66	20	6	6	70	40	30
2	鹿児島ユナイテッドFC	57	16	9	7	46	35	11
3	ガイナレ鳥取	53	15	8	9	61	47	14
4	アスクラロ沼津	52	14	10	8	40	29	11
5	ザスパクサツ群馬	52	15	7	10	37	35	2
6	ガンバ大阪U-23	47	13	8	11	53	43	10
7	セレッソ大阪U-23	46	13	7	12	47	36	11
8	ブラウブリッツ秋田	43	12	7	13	37	35	2
9	SC相模原	42	12	6	14	42	53	-11
10	AC長野パルセイロ	41	10	11	11	39	37	2
11	カターレ富山	41	12	5	15	41	50	-9
12	福島ユナイテッドFC	40	9	13	10	36	43	-7
13	グルージャ盛岡	40	12	4	16	41	56	-15
14	FC東京U-23	36	10	6	16	38	45	-7
15	Y. S. C. C. 横浜	34	8	10	14	40	48	-8
16	藤枝MYFC	34	10	4	18	32	48	-16
17	ギラヴァンツ北九州	27	6	9	17	22	42	-20

U-23 スタジアム紹介



F 味の素フィールド西が丘
北区西が丘 3-15-1



G 江東区夢の島競技場
江東区夢の島 1-1-2



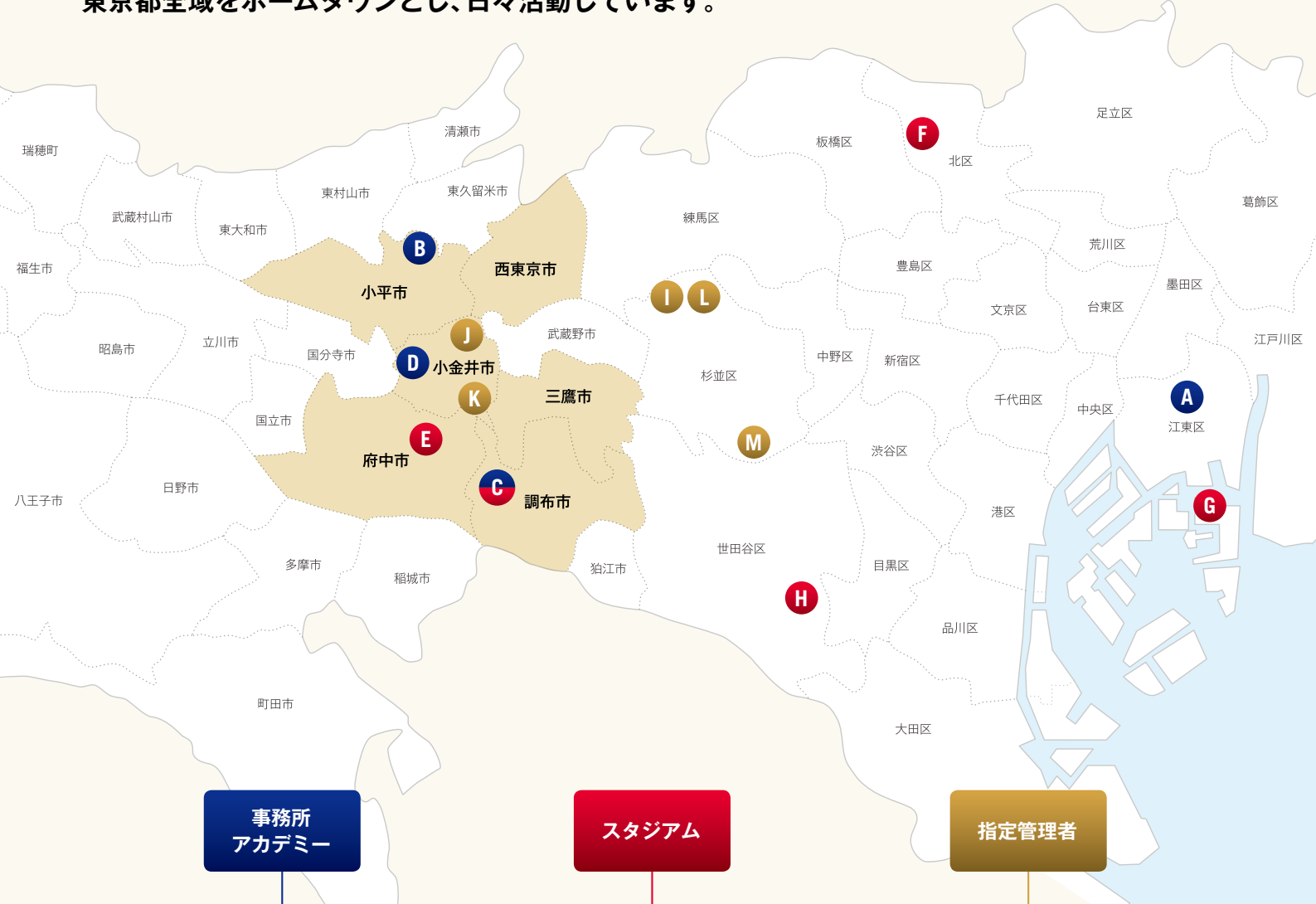
H 駒沢オリンピック公園
総合運動場陸上競技場
世田谷区駒沢公園 1-1
※ 2018シーズンは使用なし

※2019シーズンよりFC琉球、鹿児島ユナイテッドFCがJ2リーグ昇格
ロアソル熊本、カマタマーレ讃岐がJ3リーグに降格。ヴァンラーレ八戸がJFLより昇格。

ホームタウン紹介

チームにご出資いただいている

府中市、三鷹市、調布市、小平市、西東京市、小金井市の6市をはじめ、東京都全域をホームタウンとし、日々活動しています。



事務所
アカデミー

スタジアム

指定管理者

A 東京フットボールクラブ(株)本社
江東区猿江 2-15-10
【TEL】 03-3635-8985

FC.TOKYO U-15 深川 江東区猿江 2-15-10

B FC東京 小平事務所・グラウンド
小平市大沼町 3-14-1
東京ガス武蔵野苑内
【TEL】 042-342-8950

FC.TOKYO U-18 小平市大沼町 3-14-1

C 味の素スタジアム事務所
調布市西町 376-3 味の素スタジアム内
【TEL】 042-488-6255

D **FC.TOKYO U-15 むさし**

G 味の素スタジアム
調布市西町 376-3



※2018シーズンはFC東京U-23では使用なし

E フットサル場 **FC東京パーク**



府中市宮町 1-41-2 伊勢丹屋上
【TEL】 042-314-1380

I 上井草スポーツセンター
杉並区上井草 3-34-1
【TEL】 03-3390-5707



J 小金井市総合体育館
小金井市関野町 1-13-1
【TEL】 042-386-2120



K 小金井市栗山公園健康運動センター
小金井市中町 2-21-1
【TEL】 042-382-1001



L 妙正寺体育館
杉並区清水 3-20-12
【TEL】 03-3399-4224



M 永福体育館
杉並区永福 1-7-6
【TEL】 03-3328-3146





地域イベント

年間で約 50 回の地域イベントに参加し、子どもたちに人気のサッカーアトラクションは延べ 12,000 名にお楽しみいただきました。浅草や池袋、品川など 23 区内でのイベントにも選手や東京ドロンパ、石川直宏クラブコミュニケーターが参加。地域のみなさまと一緒に、より良いまちづくりを目指しています。



選手商店会巡回

日頃よりご支援・ご協力いただいている商店会を選手が訪問し、感謝を伝える毎年恒例の「選手商店会巡回」。今年は北千住や麻布十番を含む都内約 40 箇所の商店会を訪問し、サイン会の実施や地域のみなさまから激励の言葉をいただきました。



ホームゲームでの PR 活動

ホームタウンの魅力を発信する PR 活動を味の素スタジアムで実施しました。2018 シーズンは三鷹市 (5/13)、小金井市 (7/22)、調布市 (9/29)、府中市・西東京市 (10/20)、小平市 (11/24) がそれぞれ特産品の販売をしたり体験型の PR を展開。さらにご当地マスコットなども登場し、会場を盛り上げました。



選手小学校訪問

「FC 東京を身近に感じてもらうとともに、サッカーを通じて夢や希望を与えたい」という想いで、選手会が企画・実施している小学校訪問は今年で 11 回目。今年も都内 12 の小学校を訪問し、約 1,100 名の子どもたちとふれあいました。



飛田給駅セレモニー

京王線飛田給駅の列車接近音が FC 東京の応援歌として歌われている「You'll never walk alone」と「東京ブギウギ」に変更となりました。音源は FC 東京サポーターとしても知られる土屋礼央さんが制作し、9月29日(土)清水エスパルス戦の試合前にセレモニーを実施しました。



自治体表敬訪問

クラブに出資いただいている府中市・三鷹市・調布市・小平市・西東京市・小金井市の 6 市へ表敬訪問しました。各市長に日頃の支援への御礼を伝えるとともに、市民向けの報告会や花束贈呈を実施していただきました。

社会連携活動・東京都との取り組み



人権啓発活動への協力

8月15日(水)柏レイソル戦において、東京都総務局人権部と協力して人権啓発活動PRを実施しました。東京ドロンバがデザインされた啓発グッズの配布や、室屋成選手・太田宏介選手が出演するメッセージ動画の放映のほか、ハーフタイムには人権啓発キャラクターと東京ドロンバがピッチレベルを周回してPRしました。



「#ちよいボラ」活動への協力

東京都生活文化局と協力し、ボランティア活動が気軽に身近なものであることをわかりやすく伝え、ボランティア活動に親んでもらうための啓発活動「#ちよいボラ」のPRを8月15日(水)柏レイソル戦において実施しました。車いすバスケットボール体験、打ち水体験など、多くの方が楽しみながら「#ちよいボラ」を体験しました。



福島復興支援活動

Jリーグも継続して実施している福島復興支援活動の一環として、FC東京は東京都の復興支援対策部、福島県東京事務所、さらにJヴィレッジと協力して、9月2日(日)サガン鳥栖戦で福島県復興支援PRブースを展開しました。またこの試合に、福島から都内へ避難されているみなさまを招待しました。



赤い羽根共同募金

10月20日(土)セレッソ大阪戦において、東京都共同募金会ならびに共同募金調布地区協力会との協働で「赤い羽根共同募金の募金活動」を実施。毎年特別に制作される『青赤の羽根』はファン・サポーターにも定着してきており、今年もトップチームの選手や石川直宏クラブコミュニケーター、FC東京U-15深川の選手らも参加して募金の呼びかけを行いました。



オレンジリボンキャンペーン

10月20日(土)セレッソ大阪戦において、東京都福祉保健局の「オレンジリボンキャンペーン(児童虐待防止)」普及啓発活動に協力し、啓発グッズの配布や大型映像機での啓発アニメーション動画を放映しました。コンコースには啓発キャラクターの「OSEKKAIくん」も登場しました。



ヘルプマーク普及啓発活動への協力



援助を必要とする方々のために作られた「ヘルプマーク」の普及を目的として、11月24日(土)川崎フロンターレ戦において、東京都福祉保健局と協力して青赤横丁にて普及啓発グッズの配布などの活動を実施しました。

東日本大震災・熊本地震災害 被災地 復興支援 Jリーグ TEAM AS ONE 一斉募金



東日本大震災・熊本地震災害 被災地復興支援を目的に、Jリーグ全クラブで「Jリーグ TEAM AS ONE 一斉募金」を実施しました。FC東京では3月に行われたJ1リーグ、J3リーグのホームゲーム計5試合にて募金活動を行いました。

Jリーグ TEAM AS ONE 平成30年7月豪雨災害義援金募金



復興支援活動「Jリーグ TEAM AS ONE」の一環として、7月と8月に開催したJ1リーグ、J3リーグのホームゲーム計5試合で「平成30年7月豪雨災害義援金募金」を実施。FC東京選手会、スタッフ、クラブからの義援金も被災地にお届けしました。

Jリーグ TEAM AS ONE 平成30年北海道胆振東部地震義援金募金



9月に開催した明治安田生命 J1リーグ、J3リーグのホームゲーム計2試合において、「Jリーグ TEAM AS ONE 平成30年北海道胆振東部地震義援金募金」を実施しました。

©J.LEAGUE

「社会を明るくする運動」への協力



更生保護の考え方に理解を深め、それぞれの立場で力をあわせ犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動を、調布市と連携して実施しています。ホームゲームでは保護司のみなさんがハーフタイムにピッチレベルを周回してPR活動を行いました。



サッカークリニック



普及・育成指導実践

クラブ

「繋ぐ」をテーマに、クラブ内の様々な活動に参加し、コミュニケーションを図りました。

地域

ホームタウンを中心とする地域のイベントや講演会に参加しました。



2020に向かってともに走ろう～こだいらからオリンピック・パラリンピックを盛り上げよう！～(小平市)

広報

雑誌やWEB、テレビなどのメディアから発信を行い、より多くの方々にFC東京をPRしました。



テレビ取材の様子

ファン・サポーター

J1リーグ、J3リーグの試合会場では、たくさんのファン・サポーターの方と触れ合いました。



J1リーグでの様子

石川直宏 クラブコミュニケーター

クラブコミュニケーターとして、FC東京の活動に様々な形で協力・参加し、クラブとFC東京に関わる全てのみなさまとコミュニケーションを図り、人と人との繋げクラブの発展のためにサポートする役割を担います。

企業

企業訪問や講演会を通し様々な業種の方とお会いすることで、クラブへの期待や要望などを幅広く聞くことが出来ました。



DAZN 訪問



東京商工会議所での講演会



バセラルゾーツでのアウェイゲーム観戦イベント



J3リーグでの様子

©J.LEAGUE

選手招待シート

トップチーム所属の選手たちが地域に貢献したいという想いから、福祉施設のみならずサッカーが大好きな子どもたちをホームゲームにご招待しました。



少年少女観戦送迎バスツアー



東京都内在住の子どもたちを送迎バス付きでホームゲームに招待します。多くの企業・団体からCSR活動(企業の社会的責任)の一環としてご協賛いただきながら、子どもたちにサッカーの楽しさを伝え、夢を与えるお手伝いをしています。

「ECOパスプロジェクト in 味スタ」の実施



資源の有効活用を目的に帝人フロンティア株式会社と一緒にゴミの分別・ペットボトルの回収に取り組みました。今シーズンのペットボトル回収量は約6トンとなり、リサイクルして製造した素材を社会福祉法人東京コロニーにて加工・製法したECOバスバッグも販売しました。



©J.LEAGUE

BANGKOK UNITED FOOTBALL CLUB(タイリーグ1部)との提携

アカデミー所属選手の育成、トップチームの強化を目的とした交流、新規事業の開拓を目的とし、2017年3月に提携を開始。U-23 タイ代表にも選ばれたジャキット選手は2018シーズンFC東京U-23で22試合に出場。またアカデミーの選手2名がFC東京U-18の練習に参加するなど、継続したクラブ間の交流を図っています。



独立行政法人国際協力機構との交流

クラブの国際化と社会貢献を目的に2014年からスタートした独立行政法人国際協力機構(JICA)との国際交流。今年は計43ヶ国85名の研修生を試合に招待しました。



アラブ首長国連邦アブダビ首長国におけるサッカー人材育成事業への協力

一般財団法人日本国際協力センターが、日本、アブダビ首長国、両国のユースチーム同士の合同練習や交流試合等サッカー分野における人材交流事業の活発な展開を通じて、アラブ首長国連邦との関係強化を目的として実施した事業に協力。アブダビからのユース選手及び指導者を11月に受け入れ、2019年にはFC東京U-18が遠征を予定しています。

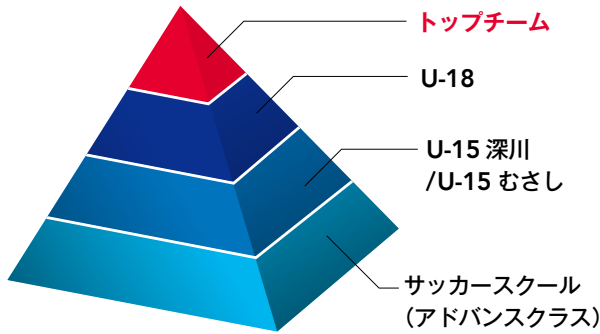


「バヤンカラFC U-15」からの選手受け入れ・指導者短期派遣

国際交流基金アジアセンターとJリーグが主催する事業にFC東京が協力し、スポーツ・フォー・トゥモロー認定事業として、インドネシア「バヤンカラFC U-15」から3月に選手2名を受け入れ、FC東京U-15 深川の練習に参加。また、9月には指導者短期派遣を行いました。

育成ビジョン

FC東京は、トップチームへの優秀な選手を輩出するために、勝者のメンタリティを兼ね備え自立した選手を育成し、攻守に支配するサッカースタイルを確立します。



選手育成コンセプト

- Speed スピード
- Personality 人間性
- Insight 洞察力・判断力
- Race 競争
- Independence ... 自立
- Technique テクニック

サッカースタイル

- Attack**
ボールと人が考えて動く、攻撃的パスサッカー
- Transition**
切り替え・ハードワーク
- Collective**
攻守にプレーが連続
連動したコレクティブなサッカー
- Possession**
ポゼッション
(ゴールを目指す・シュートで終わる)

FC東京アカデミー出身選手 ※2018 シーズン在籍選手



2018 シーズン サッカースクール

サッカーを通じて子どもたちに自ら取り組む姿勢を身に付けてほしい！

FC東京では幼児から中学生までを対象としたサッカースクール、フットサルスクールを開校しています。女子限定スクールや知的障がい児向けのスクールも展開し、子どもたちにサッカーを通じて、多くの仲間と関わりながら自ら「考え」「取り組み」自分の人生をデザインしていく力を身につけていけるよう取り組みました。



FC東京サッカースクール / FC東京サッカースクール アドバンスクラス / FC東京サッカースクール スタッフ派遣校

FC東京U-18



- 平成 29 年度 第 19 回 東京都クラブユース U-17 サッカー選手権大会 第 3 位
- 第 42 回日本クラブユースサッカー選手権 (U-18) 大会ベスト 16
- 高円宮杯 U-18 サッカーリーグ 2018 東京 1 部 3 位
- 2018J ユースカップ第 26 回 J リーグ ユース選手権大会ベスト 16
- 高円宮杯 JFA U-18 サッカープレミアリーグ 2018 EAST 9 位

FC東京U-15むさし



- 第 25 回東京都クラブユースサッカー U-14 選手権大会 ベスト 4
- 第 22 回東京都クラブユースサッカー U-13 選手権大会 ベスト 8
- 2018 年度関東ユース (U-15) サッカーリーグ 1 部 第 2 位
- 高円宮杯 JFA 第 30 回全日本 U-15 サッカー選手権大会 ベスト 8

FC東京U-15深川



- 第 25 回東京都クラブユースサッカー U-14 選手権大会 ベスト 4
- 第 22 回東京都クラブユースサッカー U-13 選手権大会 ベスト 8
- 第 33 回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-14) 大会 ベスト 8
- 第 33 回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会 ベスト 8
- 2018 年度関東ユース (U-15) サッカーリーグ 1 部 第 3 位
- 高円宮杯 JFA 第 30 回全日本 U-15 サッカー選手権大会 優勝

年代別日本代表



サッカーを通じてスポーツの楽しさを伝え、老若男女問わず気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに寄与しています。各地域の行政や学校とも連携・協力を図り、幅広い活動を行いました。



サッカー・フットサルスクール

都内 23 箇所 (スタッフ派遣校 8 校を含む) で行われているサッカー・フットサルスクールには、約 4,000 名の子どもたちが在籍しています。個人の技術、戦術面でのレベルアップはもちろん、自ら考え取り組む力や仲間と協力する力を育みます。



キャラバン隊

教育委員会と連携した「キャラバン隊」では、普及部コーチが小学校を訪問し、サッカーの楽しさを伝えるだけでなく、自分で考え行動できるような働きかけをしています。授業を通じて子どもたちの自立心の成長が感じられる貴重な体験授業です。



キッズマッチ

味の素スタジアムでのホームゲーム前には、株式会社ジュークにご協力いただき「キッズマッチ」を実施しました。プロの選手と同じピッチで、都内のジュニアチームやスクール生が元気いっぱいプレーをしました。



スクール卒業イベント

スクールを卒業する 6 年生を対象とした「FC 東京サッカースクール卒業イベント」では、6 年生の最後まで共にスクール生活を送ってきた仲間たちとの試合に加え、トップチームの選手とのふれあいも行われ、楽しい時間を過ごしました。



障がいのある子どもたちのサッカー教室

一人でも多くの子どもたちがサッカーを通じて楽しく元気に育ってもらえるよう、知的障がいを持つ子どもたちを対象にサッカー教室を開催しました。2018 年度はこれまで調布市にて不定期で実施していた「ここサッカークリニック」を発展させ、毎月 1 回継続的・定期的で開催する「あおぞらサッカースクール in 調布」を開校しました。



おとなのサッカー・フットサル教室

大人を対象とした「おとなのサッカー・フットサル教室」は、「観るスポーツ」としてだけではなく実際にプレーをすることで、より交流や理解を深めてもらう活動です。2018 年度は武蔵野の森総合スポーツプラザでも開催し、参加者の輪は年々広がり、今年は延べ 2,500 名の方にご参加いただきました。



FC 東京パーク府中

FC 東京が運営するフットサル施設「FC 東京パーク府中」では、スクール活動をはじめ各種サッカー・フットサルイベント、土日祝日には FC 東京普及部コーチによるワンデイイベントを実施。また、夏祭り、選手来場など様々なイベントを開催し、老若男女たくさんの方々にご来場いただきました。



指定管理者

FC 東京は杉並区上井草スポーツセンター、杉並区妙正寺体育館、杉並区永福体育館、小金井市総合体育館、小金井市栗山公園健康運動センターの指定管理者として、各施設の管理・運営を行っています。サッカー・フットサルスクール、バレーボール教室やビーチサッカー・ビーチバレーボール教室、職場体験や地域への講師派遣など、多様な形でみなさまと交流を図りながら、地域社会に貢献していきます。

バレーボールチーム



東京ガスバレーボール部を前身とし、1986年地域リーグ（東部）に初参戦。2003年「FC東京バレーボールチーム」へ移行。2009年V・チャレンジマッチ（入替戦）に勝利し、V・プレミアリーグ（当時）昇格。2018年に墨田区総合体育館をホームアリーナとし、V1リーグに参戦中。

活動方針

① バレーボールを通じた地域貢献

バレーボールを通じて青少年の健全な心身の育成および都民各層の健康や喜びづくりに寄与し、豊かなスポーツ文化の振興に貢献します。

② バレーボールの普及と発展

バレーボールの競技人口拡大とレベルの向上を図り、生涯スポーツとしてバレーボールを楽しめる環境づくりに努めます。

③ 自立した個人の集団の創造

常に勝利を目指す自立したトッププレイヤーの集まりであると同時に、社会人としてそれぞれが持つ仕事・責任を全うする「バレーボールと仕事を両立する集団」のロールモデルとなることを目指します。



2017/18 シーズンの戦績



2017/18 V・プレミアリーグ男子順位表

順位	チーム名
1位	パナソニックパンサーズ
2位	豊田合成トレフェルサ
3位	JTサンダーズ
4位	東レアローズ
5位	ジェイテクトSTINGS
6位	サントリーサンバーズ
7位	堺ブレイザーズ
8位	FC東京

○平成29年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 ベスト8
○第67回 黒鷲旗全日本男女選抜大会 ベスト4

普及活動

「バレーボールを楽しむ、もっと好きになる」「チャレンジする」をコンセプトに、FC東京バレーボールチームの選手たちによるバレーボール教室を2002年から開催。基本プレーを中心に、子どもたちの世代ごとの発育・発達を考慮した技術指導を行っています。

2018年度は東京都内の小・中学生～高校生を対象に9回開催。約1,100名が参加し、選手達と汗を流しました。また、18歳以上の女性が対象の「駒沢バレーボールコミュニティ」や「小金井バレーボールスクール」、小学生を対象とした「墨田バレーボール教室」など、FC東京バレーボールチーム普及専門スタッフによるレッスンも定期的実施。その他、普及専門スタッフがチームの練習場へ赴き実地指導をする、出張指導も行っています。



2018年度 バレーボール教室開催報告

開催名称	開催日	場所	参加人数
高校生バレーボールスキルアップ講習会	7月16日(月祝)	明治大学付属明治高校体育館	48人
杉並区中学生バレーボール教室	7月21日(土)	杉並区松ノ木中学校体育館	107人
西東京市小学生バレーボール教室	7月22日(日)	西東京市総合体育館	82人
第1ブロック中学生バレーボール教室	7月29日(日)	立正中学校・高等学校体育館	217人
小金井市中学生バレーボール教室	7月30日(月)	小金井市総合体育館	67人
第9ブロック中学生バレーボール教室	7月31日(火)	府中第四中学校体育館	190人
第6ブロック中学生バレーボール教室	8月2日(木)	TG 深川体育館	134人
東村山市中学生バレーボール教室	8月4日(土)	東村山市民スポーツセンター	191人
荒川区ジュニア育成バレーボール教室	9月23日(日)	荒川区汐入小学校体育館	30人

練習場



東京フットボールクラブ(株) 本社
〒135-0003 江東区猿江 2-15-10
東京ガス深川グラウンド内 TG 深川体育館

チームマスコット

FC東京のチームマスコット、東京ドロンパ。その高い身体能力を活かしてピッチ内外でスタジアムを盛り上げます!!



「東京ドロンパ」

1998年10月1日、港区麻布狸穴町(まみあなちょう)で生まれる。
六本木と東京タワーのほぼ真ん中に位置する狸穴町、いわゆる生粋の都会っ子である。
遊び場はもちろん噴水の素敵な狸穴公園。
知らぬ間にパッと現れ、ドロンといなくなることから、
いつしか仲間から「東京ドロンパ」と呼ばれるようになった。
東京タワーのそばに棲んでいるドロンパだから、「東京ドロンパ」というわけである。
狸の世界では誰もが認める東京ファンである。
そんな彼にオフィシャルマスコット招聘のオファーが届き、チームマスコットとなった。
チームマスコット就任10周年を迎えた2018年は、9月29日(土) 清水エスパルス戦にて
『2018 東京ドロンパ Birthday Party~チームマスコット就任10th Anniversary~』を開催した。



クラブスポンサー

		三菱商事		MITSUI & CO.		清水建設	
	きらぼし銀行		TOKYO MX		XFLAG		
	umbro		KIRIN キリンビバレッジ		SHIPS		amino VITAL アミノバイタル
	TOKYO GAS LIFE		LAWSON		EUROSPORTS		商船三井
	TLT 東京エルエヌジャータンカー		MITSUBISHI ELECTRIC		HUMAN OHYA 大矢運送		ENEOS
	日本郵船		関電工		明治安田生命		Liv Group
	MARUTONE		MALAYSIA LNG		NIPPO		日鉄住金P&E
	made		IHI Realize your dreams		大林組		鹿島
	J:COM		銭高組		大成建設		東京ガスiネット
	Mercedes-Benz		ANA		DYM		TOKYO GAS ENGINEERING SOLUTIONS
	SHINRYO 新野冷蔵工業株式会社		ニッヤマ		TOMAS		西鉄旅行 SPORTS
	Di. ストレッチ		BMZ		ネットワーク 水道センター		ビックコソ
	セントラル信託FX		XSCORE		オフィスパートナー ナイテック		明治ヨーグルト R-1
	ESTRUTH		HIS Love Peace TRAVEL		イーデザイン損保 東京海上グループ		carrozeria
	MARKESTRA		Urban Oasis Pascia Resorts		SPORTS DEPO For Your Active Life		ニチパン
			Del Monte フレッシュ・デルモンテ		Roters		新緑 さぼてん
					Lancers		co-op deli
					PRTIMES		東京建物



公式ケータイサイト
<http://fctokyo.sportsinfo.jp>



<https://twitter.com/fctokyoofficial>



<https://www.facebook.com/fctokyo>



<http://line.me/ti/p/@fctokyo>



<https://www.instagram.com/fctokyoofficial>



<https://www.youtube.com/user/fctokyochannel>

<https://www.fctokyo.co.jp>